

荷主とトラック運送事業者が連携して実施したパイロット事業の ガイドライン及びガイドライン事例集

(URLから国土交通省のホームページなどでご覧頂けます)

- 荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン
 - <http://www.mlit.go.jp/common/001259787.pdf>
- 荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン事例集
 - http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk4_000022.html

(参考資料)

- ・ トラック運送業の生産性向上に向けて
http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk4_000031.html
- ・ トラック運送における生産性向上方策に関する手引き
<http://www.mlit.go.jp/common/001189107.pdf>
- ・ 原価計算の活用に向けて
<http://www.mlit.go.jp/common/001185829.pdf>
- ・ 10業種の業種ごとの調査結果報告書
- ・ 飲料・コールドチェーン：<http://www.mlit.go.jp/common/001198488.pdf>
- ・ 化学：<http://www.mlit.go.jp/common/001198489.pdf>
- ・ 家電：<http://www.mlit.go.jp/common/001198490.pdf>
- ・ 金属：<http://www.mlit.go.jp/common/001198491.pdf>
- ・ 建材：<http://www.mlit.go.jp/common/001198492.pdf>
- ・ 紙・パルプ：<http://www.mlit.go.jp/common/001198493.pdf>
- ・ 自動車：<http://www.mlit.go.jp/common/001198494.pdf>
- ・ 食品・日用品：<http://www.mlit.go.jp/common/001198495.pdf>
- ・ 特積み：<http://www.mlit.go.jp/common/001198496.pdf>
- ・ 農産品：<http://www.mlit.go.jp/common/001198497.pdf>

※右記のQRコードをスマートフォン等で読み取りご覧いただくことも可能です
ガイドライン、事例集は当該ページの下段に掲載



<問い合わせ先>

- | | | |
|--------------------|----------|------------------|
| ・ 関東運輸局山梨運輸支局 | 企画輸送監査担当 | TEL:055-261-0880 |
| ・ 厚生労働省山梨労働局 | 労働基準部監督課 | TEL:055-225-2853 |
| ・ 一般社団法人 山梨県トラック協会 | | TEL:055-262-5561 |

荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン（抜粋）

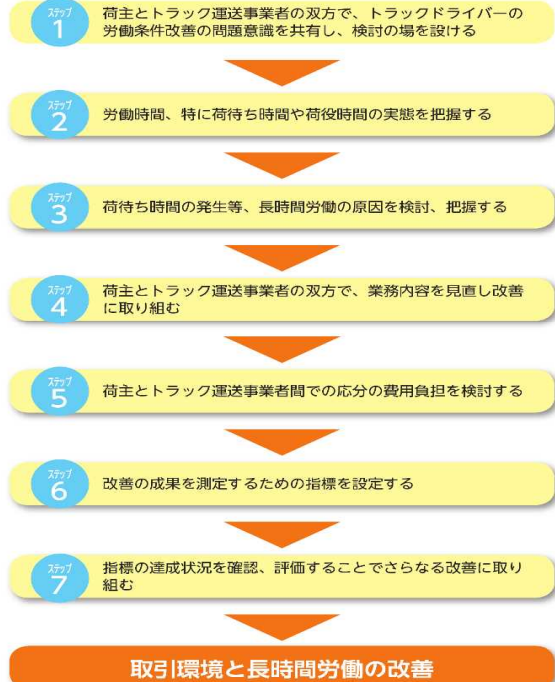
・荷主企業とトラック事業者との協力によって実施されたパイロット事業を紹介

荷主と運送事業者の協力による

取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン

厚生労働省 労働基準局 労働条件政策課
国土交通省 自動車局 貨物課
公益社団法人 全日本トラック協会

改善に向けたステップ



・ステップで荷主とトラック事業者の協力による改善の取組みの進め方を紹介

ステップごとの取組みの具体的なイメージと流れ

ステップ1 問題意識を共有する場の設置

輸送にかかわる関係者が**全員集まる**のが理想!

ステップ2 労働時間、特に待ち時間や荷役時間の把握

拘束時間（運転時間、待ち時間、荷役時間等）の実態を**きちんと数字で把握**する!

項目	時間	距離	積載	積込時間	積出時間	荷役時間	休憩時間	作業時間	拘束時間
①出庫時	7:00	200km	0.20	1:10	2:10	1:30	2:10	1:30	8:00
②到着時	7:30	200km	1:00	0:40	2:40	1:10	2:00	1:00	7:40
③出庫時									

ステップ3 長時間労働の原因を把握（例えば待ち時間や荷役発生の原因など）

待ち時間や荷役時間が原因で拘束時間が長い場合「**なぜ待ち時間が起きるか**」「**なぜ荷役に時間がかかるか**」を把握する

ステップ4 業務内容を見直し、改善に取り組む

時間がかかっている**作業の内容を見直し、改善への取組みを検討!**

出荷前の荷揃えは？
手荷役作業？

ステップ5 応分の費用負担を検討

改善のための**費用負担について関係者間で協議**

ステップ6 成果測定のための指標を設定

できるだけ具体的な**数値で目標を設定!**

待ち時間	拘束時間	休憩時間
4:15	16:30	8:00
3:45	16:35	7:45
...

30分以内に 13時間以内に 8時間以上に

ステップ7 目標数値と実績値を比較・検証、さらなる改善へ!